



あいさつボランティアやっています

1学期より、生徒指導主任の井田先生の呼びかけで「あいさつボランティア」が始まりました。最初の頃は、数人の子供達しか集まらなかったのですが、最近ではたくさんの子供達があいさつボランティアに参加してくれています。あいさつばかりか、朝掃除まで自主的に手伝ってくれており、感心しています。児童玄関前が、朝から明るく元気な声で満ちています。これは決して強制ではないのですが、ボランティアをしてくれた子供は、顔写真入りでホールに掲載しています。ある学年などはもう全員が参加してくれました。この、あいさつボランティアの輪が、家庭や地域にまで自然に広がったらいいなと思っています。



あいさつボランティアに参加した友達です

拡大代表委員会開催しました

小学校では、大きな行事への取り組みや学校全体の約束事を決定したりする時に、「代表委員会」を開きます。学年の代表が自分たちで話し合った結果を出し合い、話し合いのルールに従って民主的に話し合いを進めていくのです。司会やお世話係は運営委員会です。10月11日は、その拡大版の「拡大代表委員会」を開催しました。議題は、11月に行われる「北明小秋祭りを成功させよう」でした。今回の参加者は、学年代表者ではなく、3年以上の全校児童です。100人もの子供達の話し合いですから、ふれあいホールで行いました。決まった話し合いの柱に従って意見を交わします。下学年の児童も、しっかり自分の意見を言うことができていました。本番では、ここの場で決めたことをしっかり守り、課題意識を持って参加してくれると思います。北明小学校児童の自主性がしっかり育っているのを、私は大変嬉しく思いました。



真剣な面持ちで話し合いに臨む児童 上級生は全校のお手本になっています

「かがやく北明っ子」の反省(前期)

今年度から成績2学期制を導入し、前期の通知表を10月11日に手渡しました。子供達は、成績や生活の様子が書かれた表を受けとって嬉しそうでした。ご家庭でも前期に頑張ったことなどを話題にされ、大いに認め褒めてこれからの意欲につなげてあげてください。

また、「かがやく北明っ子の反省」では、「ひとみががやく子」「こころかがやく子」「いのちかがやく子」について、評価項目に沿って子供達が自己評価をしました。その結果をお知らせします。

	北明小学校 147名			
	◎ よくできた	○ だいたいできた	△ あまりできない	× ほとんどできない
1 時計を見て行動した	42%	54%	3%	
2 ありがとうと言えた	71%	26%	3%	
3 元気なあいさつをした	48%	39%	11%	
4 掃除は無言でがんばった	48%	43%	9%	
5 人をいじめなかった	67%	24%	8%	
6 係や委員会の仕事をした	73%	19%	7%	
7 たてわり活動	82%	12%	2%	
8 家の手伝いをした	40%	43%	10%	7%
9 元気に外で遊んだ	50%	22%	20%	8%
10 ハンカチ・ちり紙	67%	25%	5%	
11 給食は残さず食べた	68%	18%	10%	4%
12 歩いて(自転車で)登校した	72%	18%	7%	3%
13 元気よく発表した	41%	32%	22%	5%
14 学習用具を忘れなかった	54%	39%	6%	
15 本を毎日読んだ(図書の本、音読集、新聞)	68%	23%	7%	
16 宿題自学に取り組んだ	55%	35%	7%	

前期に良かった所は、縦割り活動82% 係や委員会の仕事73% ありがとう71% 自力登校72% でした。悪かった所は、手伝い40% 発表41% 時計を見て行動42% 等でした。気になる傾向として、「◎よくできた○大体できた」を合計しても、家の手伝い83% や外で元気に遊ぶ72% 元気よく発表する73% の項目は数値が低いです。特に、手伝いの項目は、ここ数年連続してあまりよくありません。これは白石町全体の傾向としても同じです。ぜひ、子供の家庭での生活に、手伝いの時間を意図的に入れてください。そして、出来たら褒める、感謝することを繰り返すことで児童の自尊感情を高めさせてください。保護者のみなさんのご協力をお願いします。